

# 浦安とみおか川柳会

## 十月例会結果

日時： 令和4年10月11日(火)  
 出席者： 真田宣子、塩見和昭、谷口勝、  
 長谷川智、三浦みちえ、光永ひかる、  
 森山裕子、山岸順、山口しだれ、山口昇柳  
 矢嶋もと之  
 講師： 佐藤青樹

点数  
 講師  
 推奨  
 課題「能天気」互選 講評\*佐藤青樹

6 効くというサブリ集めて舌づつみ 和昭

「舌づつみ」が効いて面白くできました

5 傘寿過ぎ大器晩成まだ信じ 裕子

一読明快で面白くできました

周りみな心配性にした気楽 ひかる

もう少し躯体的に

参考：親兄弟心配症にして各々

4 火の車妻に任せて趣味多彩 智

「信じ切る」が効いて上手くできました

3 ややこしい事は嫌いな軽い脳 ひかる

一読明快で面白くできました

2 借金で海外支援している国 勝

よく見る風景ですが、「子を引いたまま」の表現はどうか

1 ノホホンと生きて毎日パラダイス 裕子

預金通帳が空だったのですね

借金で何とかなるさ旅の空 勝

「軽い脳」で決まった面白い句

天国に行けるなら壺買ってみる 順

リズム感良く上手くできました

悩み事ないから腹があくびする 和昭

社会問題を上手く詠った句

宝くじ買って住宅展示場 智

「腹があくびする」が効いて面白くできました

宝くじが当たればよいですね

3 ノホホンと生きて毎日パラダイス 裕子  
 お幸せな「能天気」ですね

2 九条が国を守るといふ弛緩 和昭

一読明快で同感の句

1 俄雨干した布団が見捨てられ みちえ

「見捨てられ」の理由を読者の推測にまかせた句

借りた傘車中に忘れ弁償に 智

参考：居眠りへ俄雨降る布団干し

とりあえず雨戸を開けてひと寝入り 順

参考：借りた傘盗られ弁償させられる

僕唱う常識外れ百寿夢 昇柳

参考：とりあえず雨戸を開けて寝てしま

親友は常識外れ百寿夢 昇柳

参考：白寿超えすると毎日サブリ漬け

あれこれと指図したがる亭主の座 みちえ

亭主なんてそんなものでしょうね

家計簿を見せない妻に伸ばす羽 裕子

黒字だから家計簿を見せない？赤字で見せないかも

宝くじ神棚置いて期限切れ 智

参考：神棚へ置いてたくじが期限切れ

浦安好き常識外れ米寿良い 昇柳

浦安好きで、米寿になるのが常識外れで良いのでしょうか

課題「力」二人選 山口しだれ選

秀	客	人	地	天	軸
耳痛い民の声こそ聴く力 無関心装う妻の底力 生ビール明日への力湧いて来る 子の為に持った母の底力 コロナ不況国力が今試される 力んでは周り困らす老いのエゴ 小国も力出し切り門守る 決断に妻の力借りている 七光などに頼らぬ実力派 おもてなし日本支える底力 君に合えば無色の時間色がつく 若者の汗は未来の力こぶ 母子家庭ママの凜凜しい力瘤	和昭 みちえ 順 みちえ 昇柳 和昭 宣子 順 裕子 ひかる 宣子 ひかる 裕子	自由吟 森山裕子選	親ばかがまた宅配の用意する 三年ぶり祭り始まり騒ぐ胸 筋トレは百に備えるパスポート 絵日記の中で朝顔よく育ち 子育てもロマン私の泣き笑い 真夜中に一人働く信号機 宇宙へと定年の星飛んで行く	ひかる 宣子 ひかる 順 勝 宣子	

課題「力」二人選 塩見和昭選

秀	客	人	地	天	軸
おもてなし日本支える底力 綱引きに頼りがいある父の腕 小国も力出し切り門守る 若者の汗は未来の力こぶ 力強く面倒見ると孫の声 やさしさに女心が揺れ動く 無関心装う妻の底力 生ビール明日への力湧いて来る 母子家庭ママの凜凜しい力瘤 札束の威力に負けているヒト科 子の為に持った母の底力 決断に妻の力借りている 抱いた子に力いっぱい励まされ 力では勝てぬ豚尻に目を細め 耳痛い民の声こそ聴く力 力んでは周り困らす老いのエゴ	ひかる 勝 宣子 ひかる 宣子 裕子 みちえ 順 裕子 みちえ 順 裕子 みちえ	自由吟 森山裕子選	温かさ文字では見えぬ生の声 終活の×は自筆の遺言書 仕合せの賞味期限は無限度 親父ギャグ元気の種をお裾分け 母の汗断捨離出来ぬ袋帯 逝く日までほんのり淡い紅をさす 立ち話やはり値上げの嘆き節 Jアラート朝の列島総毛立つ 今出来ることはしておくスニーカー	宣子 勝 宣子 ひかる 順 裕子 みちえ 順 裕子 みちえ	

例会のお知らせ	日時	令和4年12月13日(火) 13:00~16:00
	場所	富岡公民館
課題	「ルート」互選	:3句
	「浪費」二人選	:3句
	自由吟	:3句
	「犬吠」10月	掲載会員句
		虫の音が狂った夏を運び去る(しだれ) 老いに克つ百寿生き方学び生く(昇柳) 手作りの銃が政治の闇を撃つ(裕子) 定年後ポチの気持ちがわかります(和昭) 救急車タクシーとして軽く乗り(順) ロボットに匠の技を伝授する(勝) ビル谷間空気が変わる蟬時雨(みちえ)

# 川柳いろいろ

## 没句

互選句 (能天気)

・接種詐欺医者が行うお気楽さ  
晩年を快走中の能天気  
明日までに作句するとは能天気  
見られてもカーテン閉めず花がいる

一人選句(力)

力こぶ老齡入り無残なり  
欲しいもの監察力情報力  
飛蚊症動体視力試される  
政党の派閥争い終わらない  
自衛隊外地邦人救出力  
幽玄の力に押され舞い謡う  
小さな手愛犬引いて散歩中  
組織力頼るあてなく不戦敗  
筋力を付けて老化へ立ち向かう

## 自由句

榮譽とは百歳ビタリ考える  
見抜かれた時の始まるポランティア  
若人のプライド見込み奉仕止め  
虎の子のミサイルはたき張る虚勢  
1割が2割に上がり悲鳴上げ  
車窓より去り行く彼へさようなら  
廃村の家屋傾き樹木元氣  
古里へホームページが呼んでいる  
ジム行って暇を潰して腹減らし  
ハイハイをハイと言わせてネジを巻く  
政治家が最も恐れる週刊誌  
秋めいてさっそく予約二人旅  
無人駅孤独に浸り君忍ぶ  
行楽もおそろおそろの波切れ間

## 川柳の理論と実践

新家完司

### 川柳のリズムとは何か

1 散文と韻文 歌詞はメロディとセットになって  
いるので覚えやすく、忘れない。川柳も同じです。  
散文はリズムを考えてない文章のことで、小説  
エッセイ、新聞記事など。  
韻文はリズムを持たせたもので、川柳俳句短歌詩など

①風の音で眠れぬ枕を裏返す

②風の音眠れぬ枕裏返す

②は①の内容を損ねないようにしながら、七五調の  
韻律を持たせた「韻文」です。「で」「を」を省略  
眠れぬ枕を裏返す・散文感覚で「を」を入れてしま

七五調の韻律に必要な場合は外すことは出来ない。  
「てにおは」を外すことに抵抗を感じるでしょうが、  
「韻文を作っているのだ」と意識すること

2 七五調の起源をさぐる  
源流は神代の昔までつながっている。古事記に  
八雲立つ⑤ 出雲八重垣⑦ 妻ごめに⑤

八重垣作る⑦ その八重垣を⑦  
八岐大蛇を退治したスサノオノミコトの作とされてる  
この五七五七七という形は和歌と同じ形式です  
大和言葉にいちばん合うリズムが七五調であった。

3 スサノオから川柳までの道のり  
①和歌の隆盛②連歌の誕生③連歌の発句から俳句に  
④連歌の練習として前句付け⑤独立して川柳生れる

④連歌の練習として前句付け⑤独立して川柳生れる  
連歌 鎌倉時代百句を連ねる百韻→三十六句が主流に  
出発の句を「発句」最後の締め括りの句を「挙句」  
発句は格調高く詠わねばならず、季語を入れなければ  
なりません。俳句はこの発句が独立したものです。

武家社会を中心に隆盛を極めたが、連歌は次第に町民  
にも広まり、初心者が連歌の入門を望みました。  
この作句方法の基本を練習する必要があります、そのため  
生まれたのが「前句付け」です。

前句付けが独立して興行されることになった。江戸で  
一番人気者であったのが柄井八衛門、号は「川柳」  
です。川柳という文芸の名は、この八衛門の号から  
取られています。

## 鑑賞 犬吠賞 令和二年度

大賞 岩波敬祐  
本当の孤独まだまあ先のこと

準賞 新田千尋 成島静枝  
異常なし同じ薬を持ち帰る

おばあさんですが堂々専用車  
新人賞 鈴木和枝  
さあそして石の嘆きを聞いてやる

佳作 北島 溍  
一言の出合い人間っていいな

もがくまい昭和の顔で生きていく  
落日の瘦せた影絵と散歩する  
物忘れよくあることにして御飯  
桶谷康子

四点 黒木 麗  
奔放に生きる弱みを見せながら

虐待に開かなかつたパラシュート  
手を繋ご二本足になれたから  
知恵の輪が解けて夕日が美しい  
また来てねそう言えるまで店を閉め  
包丁を研いで何だか怖くなる  
お元気ですか味覚嗅覚ダイジョーブ  
直ぐひがむこの厄介な感受性  
丁度よい距離から貰う思いやり  
何着ても何を履いても私です  
残り火をくすぐるような人に会い

三点 伊藤良江  
まだまだと決めて余生に虹を描く

情熱の消えないうちに恋をする  
致死量の言葉を放つ雨しきり  
ライバルが賞味期限を引き伸ばす  
子ども等に貰った母というほうび  
「君」の字がコ・ロ・ナに分かれ崩れだす  
野次馬が脳で暴れる好奇心

米島暁子  
吉田貞恵  
三宅洋子  
吉富テイ子  
山家真猿  
高橋和男

羽生田はる  
高山達郎  
中川記代子  
藤井敏江  
藤ノ木辰三郎  
加茂英代

増田幸一  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿

黒木 麗  
吉田貞恵  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿

北島 溍  
藤井敏江  
藤ノ木辰三郎  
桶谷康子

黒木 麗  
吉田貞恵  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿

黒木 麗  
吉田貞恵  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿

黒木 麗  
吉田貞恵  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿  
増田幸一  
山上真猿

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
投げ打つ守変幻自在実行者	つくつく法師カラス上から品定め	整形の魔力で彼のハート抜く	愛の矢の当り気付かぬ野暮なひと	弓矢打ち虹に命中夢の中	ボクの目に飛び込むゴミに泣かされる	マドンナを見事射止めて荷が重い	ゴシツプの二人離婚へ命中す	美男美女当たるスクリーン小津山田	一撃で頭クラクラ枕投げ	明日テスト一夜漬けで山を張り	外れても北のミサイル抑止力	予報士に逆らってる雨男	直球でハートを射抜きVサイン	当たっても嬉しくはない医者の前	一撃に政治のウミが流れ出す	降り下ろす鍬が筈真つ二つ	キューピット避けたい人へ命中す
36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
						弓審査的できず再審査	天使の矢的に逃げられ恋破れ	一夜漬け見事に当たり走りペン	十億キロ飛んで原石採取する	目覚ましを出し抜く猫の朝ごはん	テレワーク過疎の村にも人が増え	馬に乗り無心で放ち的を射る	水撒きへ蜂に命中悲鳴出る	クリミア橋崩落断道偉大	一発で射的に夢中夏祭	銃撃後あぶり出された裏事情	銃撃に政教癒着うち抜かれ